

日本人間工学会関東支部第38回大会

プログラム

日本人間工学会関東支部長 堀江良典

日本人間工学会関東支部第38回大会長 八田一利

開催日：2008年11月29日（土）～30日（日）

会場：千葉工業大学津田沼校舎（千葉県習志野市津田沼2-17-1）6号館4階・5階

懇親会会場：新1号棟20階展望室

支部委員会：7号館1階 フレキシブルワークスペース

■受付のご案内

(1) 受付時間

11月29日（土）9:30～17:00

11月30日（日）9:30～12:15

(2) 受付場所

千葉工業大学津田沼校舎6号館5階ロビー

(3) 大会参加の受付

事前に振込み済みの方：郵便局の振込受領書をご提示下さい。

当日払いの方(学生以外)：参加費6,000円とご希望により懇親会費4,000円をお支払い下さい。

当日払いの方(学生)：学生証提示のうえ、参加費1,000円とご希望により懇親会費2,000円をお支払い下さい。大会抄録集は2,000円で別売りとなります。

※大会参加者は卒業研究発表会（抄録集無料）にも参加することができます。

※受付作業の効率化のためにも郵便振替による事前振込にご協力下さい（加入者名：日本人間工学会 関東支部第38回大会、口座番号：00240-1-66872）。

(4) 卒業研究発表会参加の受付

学生証提示のうえ、参加費1,000円とご希望により懇親会費2,000円をお支払い下さい。大会抄録集は2,000円で別売りとなります。

(5) 名誉会員・賛助会員・ご招待の方・協賛団体(製品展示・広告掲載等の賛助企業・団体)の方

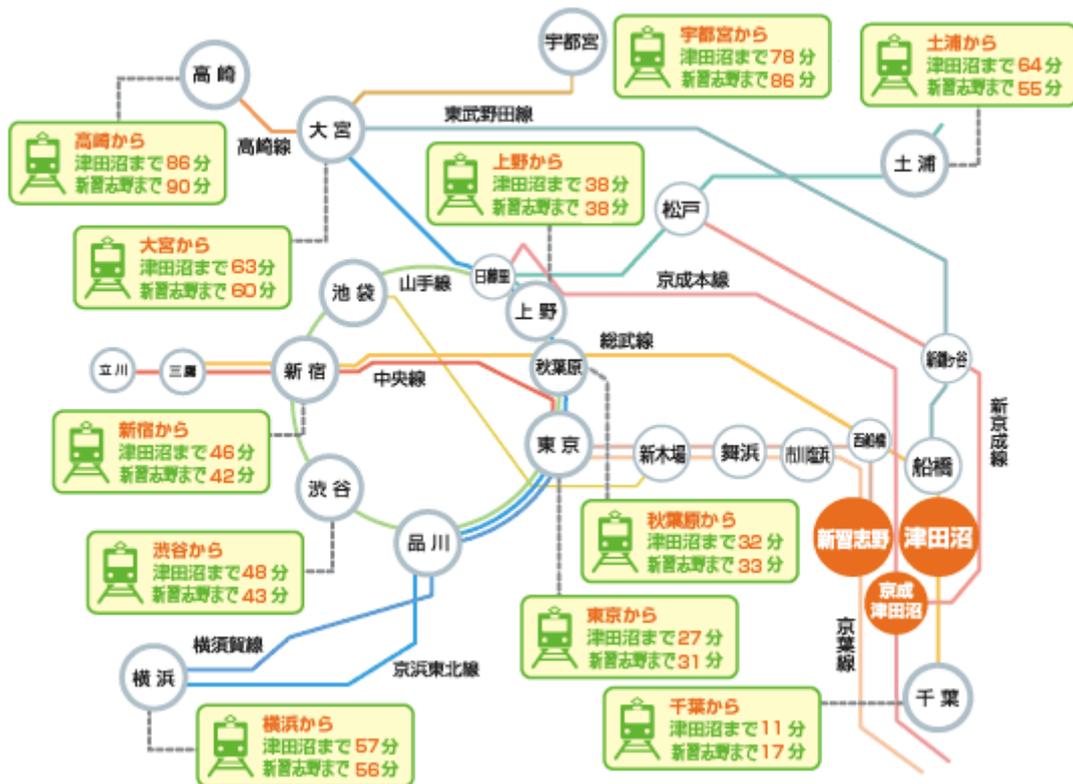
受付に直接お越し下さい。

■講演発表方法

一般講演は、発表10分、質疑応答5分です。プロジェクタと発表用の共用PC(WindowsXP、PowerPoint2007、光学ドライブ・USBボード装備)が各会場に1セットずつあります。ご自分のPCをお使いになる場合は、特殊なモニターケーブルはご持参のうえ、接続もご自身でお願いいたします。発表前に、休み時間等を利用して予め発表の準備をして下さい。また発表終了後は、必要に応じて共用PC内のご自分のファイルの削除もお願いいたします。

■交通のご案内

JR津田沼駅南口を出ると斜め左方向に千葉工業大学津田沼校舎が目の前に見えます。校内は現在新2号棟建設に向けて工事中で、ご不便をお掛けしますが何卒ご容赦下さい。南口から正門へは徒歩1分程度ですが、正門から会場（6号館）までは工事の防護壁に沿って3分程度かかります。駐車場は工事の影響で狭くなっていますので、極力電車をご利用ください。交通に関しましては、千葉工業大学のWebサイトの「交通案内」もご覧下さい。

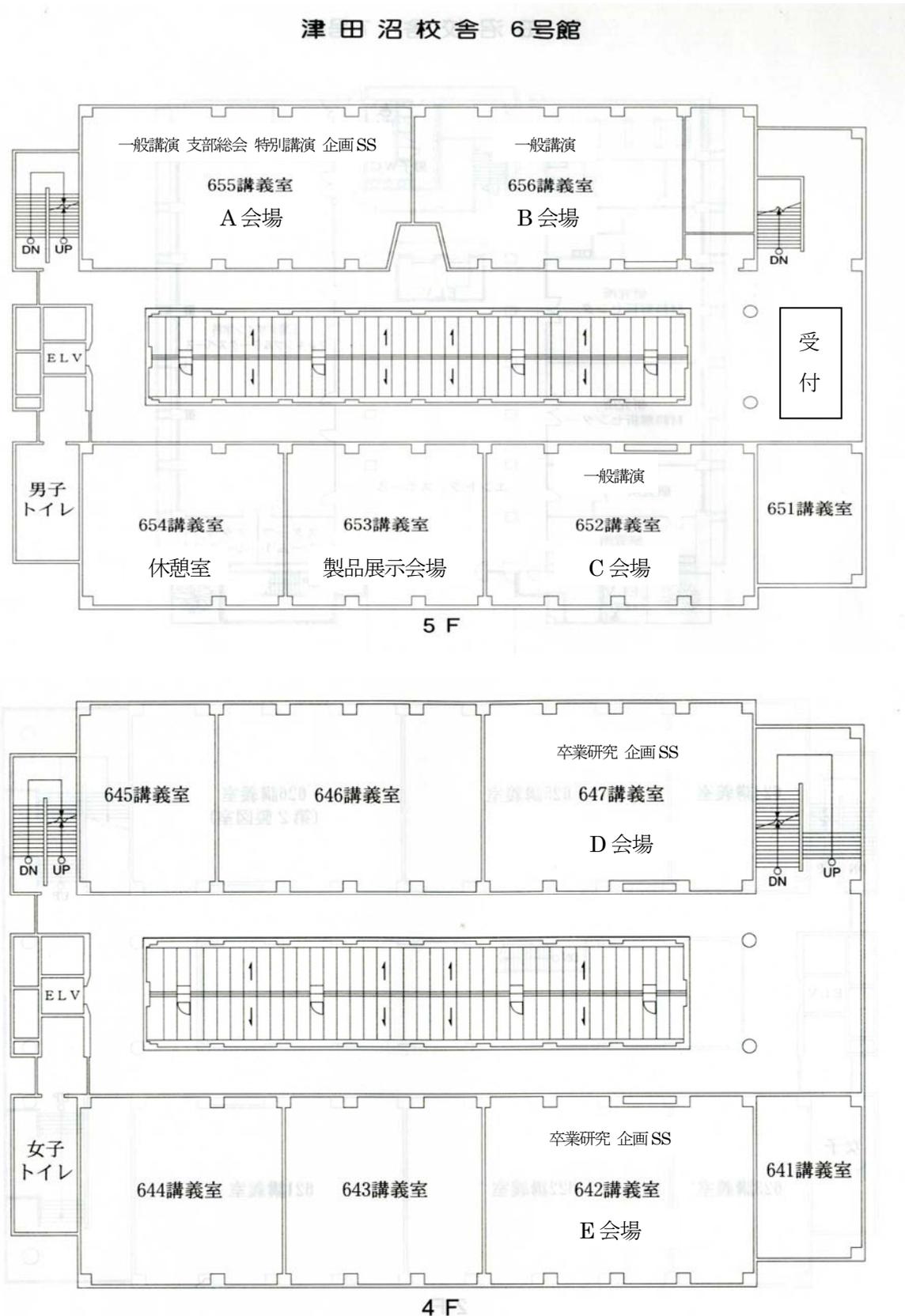


津田沼キャンパス



■発表会場のご案内

発表会場は、A、B、Cの3会場に加えて、卒業研究発表会用の2会場があります。これらの他に製品展示・休憩室があります。



■日程

11月29日(土)、30日(日)のスケジュール表

11月29日(土)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
9:00-10:00	受付					
10:00-11:00	医療	商品企画	ヒューマンファクター	卒研	卒研	
11:15-12:15	ユーザビリティ	生体信号	疲労	卒研	卒研	
昼休み						支部委員会
13:00-13:30	総会					
13:30-14:40	特別講演			卒研	卒研	
14:45-15:45	企画1	計測・評価	行動	卒研	卒研	
16:00-17:30		感覚1	介護・高齢者	企画2		
17:30	懇親会					

30日(日)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
9:00-10:00	受付					
10:00-11:00	企画3	感覚2	動作			
11:15-12:15		感性	人間工学評価			

大会プログラム

◆特別講演

11月29日(土) 13:30~14:30 A会場 [司会 大会長 八田一利]

「人間工学会が誕生したころ –老人のたわごと–」

千葉工業大学常任理事 小原二郎 先生

[概要]

日本人間工学会が誕生してからすでに半世紀近くなりました。私が初めてその名前を聞いたのは昭和33年ころでしたが、当時としては魅力的な名称でしたから、あちこちで講演会が開かれていました。そのうちに大島先生を中心にして学会を作ろうという案がまとまり、私もそれに参加しました。大島先生は参加した各人にそれぞれテーマを与えられましたから、その後は日本独特の形で学会は成長して来たのだと考えています。今ではその当時の事情を知る方が少なくなりました。

私に与えられたテーマは人体計測でしたから、私はそれを建築の分野に応用することから始めました。それが何時からか建築人間工学と呼ばれるようになりました。人間工学としては片寄った分野ですが、私たちの手さぐりでたどって来た道を報告したいと思います。もう古い時代のことで役に立たないでしょうが、人間工学の歴史の一面を知るという意味でお聞きいただけましたら幸いです。

◆企画セッション

I. 11月29日(土) A会場(14:45~16:45)

「これでわかった！人間工学規格の活用法」

人間工学規格の活用法

米村俊一 (NTT)

人間工学標準の最新動向

横井孝志 (産総研)

公共端末のユニバーサルデザイン

三樹弘之 (沖電気)

薄型テレビにおける人間工学 J I S の必要性

久武 雄三 (東芝松下ディスプレイテクノロジー)

対話の原則に基づく Web ユーザビリティ向上のストラテジ

渡辺昌洋、米村俊一、浅野陽子 (NTT)

人間工学規格の活用例ーコントロールルームの設計

森剛志 (イー・エス・アイ)、米村俊一 (NTT)

人間中心設計のアプローチ

福住伸一、平松健司 (NEC)

人間工学標準の展望

山本栄 (東京理科大)、中野義彦 (沖電気)

II. 11月29日(土) D・E会場(16:00~17:30)

「就職活動座談会 『人間工学』を活かす就職 OB・OGを囲んで」 日本人間工学会広報委員会
「学生時代の研究と現在の仕事との関わり」

北島創 (財団法人日本自動車研究所 安全研究部 神奈川大学OB)

「人間工学をデザインに活かす」

鈴木浩之 (アロカ株式会社 デザインセンター 日本大学OB)

「就職活動と入社後の仕事について」

山田有佳倫 (日産自動車株式会社 実験技術開発部 千葉工業大学OG)

「学生時代の経験とデザインの仕事との繋がり」

羽深太郎 (日産自動車株式会社 デザイン本部 日本大学OB・千葉工業大学OB)

「医療系企業に就職して」

石田裕一 (テルモ株式会社 マーケティング室 千葉大学OB)

アドバイザー: 吉武良治 (日本アイ・ビー・エム株式会社),

岩切 一幸 (独立行政法人労働安全衛生総合研究所)

司会: 大内啓子 (財団法人日本色彩研究所), 松田文子 (財団法人労働科学研究所)

III. 11月30日(日) A会場(10:00~12:00)

これからのユニバーサルデザイン –ビジョン提案型デザインアプローチ

1) ビジョン提案型デザインアプローチの概要とユーザ要求抽出手法

○山崎和彦 (千葉工業大学)、郷 健太郎 (山梨大学)

2) ビジョン提案型デザインアプローチの構造マトリックス型手法と事例

○柳田宏治 (倉敷芸術科学大学)

3) 携帯電話における事例

○上田義弘 (富士通株)

4) Webサイトにおける事例

○吉井 誠 (株) アイ・エス・ティ

5) ソリューションの事例

○山田弘 (Willcom コアモジュールフォーラム)、山崎和彦
(千葉工業大学)

6) ビジョン提案型デザインアプローチの今後について

○早川誠二 ((株) リコー)、高橋克実 (ホロンクリエイト株)

一般発表

11月29日(土)

A会場

医療 (10:00~11:00)

ヒューマンエラーを防止するための薬剤の表示
方法の検討 (第13報) 複数規格ある薬剤の
外箱の含量表示の検討

○泉谷 聡、大倉典子 (芝浦工業大学)
青木和夫 (日本大学)
土屋文人 (東京医科歯科大学)

医薬品・医療機器等の回収に関するデータ解析

○米重宏美 (芝浦工業大学)、鍋田啓太 (芝浦工業大学・
院)、木村昌臣、大倉典子 (芝浦工業大学)、土屋文人 (東
京医科歯科大学)

添付文書情報からの用法用量情報取得方法の提案

○岡田和寛 (芝浦工業大学)、鍋田啓太 (芝浦工業大学・
院)、木村昌臣、大倉典子 (芝浦工業大学)、土屋文人 (東
京医科歯科大学)

アンプルを対象とした外観類似医薬品検索手法の提案

○古城 晃 (芝浦工業大学)、鍋田啓太 (芝浦工業大学・
院)、木村昌臣、大倉典子 (芝浦工業大学)、土屋文人 (東
京医科歯科大学)

ユーザビリティ (11:15~12:15)

MPUQ (Mobile Phone Usability Questionnaire) の
有効性評価

○山本雅康、今仲滋宜、吉野達也、柴垣知紀
(ソフトバンクモバイル株式会社)

マウスとマウスポインタの相対速度比を考慮した
Fitts' Law に関する研究

○大島 隆 (武蔵工業大学・院)
森 博彦 (武蔵工業大学)

利便性と安全性を考慮した携帯電話向け認証シス
テムの検討

○石川和人、宮本博幸 (千葉工業大学)

医療現場におけるリファレンスリストのユーザビリ
ティに関する研究

○佐川奈見 (春日部中央総合病院)
古川晃久、岡田有策 (慶應義塾大学)

B会場

商品企画 (10:00~11:00)

ヒューマンデザインテクノロジーとデータベースを活用した商品開発手法

○石本明生、本多信夫(株) HAL
デザイン研究所)、山岡俊樹(和歌山大学)

商品—生活者関係の記述に基づくペルソナ作成プロセスに関する研究

○服部 嶺 (早稲田大学・院)、
小松原明哲 (早稲田大学)

食品の取り出しやすさを考慮した冷蔵庫棚の提案と評価

○小田健太郎、黄 敬華 (千葉大学・院)、
下村義弘、勝浦哲夫(千葉大学) 、 船山敦子、
赤木 祐子(日立アプライアンス株式会社)

人間中心設計のステージおよびプロセス毎に使用されるシナリオの書き方と連続性

○伊藤泰久 (総合研究大学院大学・
株式会社 U'eyes Design)、高橋秀明、
黒須正明 (独立行政法人 メディア教育開発センター)

生体信号 (11:15~12:15)

ヒトの手掌部の温冷感覚特性に関する評価実験に基づくその活用法の検討

○西川冬瑠、土井幸輝、瀬尾明彦(首都大学東京)

システムの感性評価を目的とした生体信号の利用方法の検討(第5報)~わくわくモデルの提案~

○青砥哲朗 (芝浦工業大学・院)、大倉典子 (芝浦工業大学)

呼吸音の解析方法の検討

○西倉健介 (明星大学・院)、金杉成昭、
亀井延明 (明星大学)、亀井智子 (聖路加看護大学)

不快刺激提示時における鼻部皮膚温度と血流量の比較検討

○梅原 進、浅野裕俊(青山学院大学) 、鈴木 哲
(首都大学東京)、井出英人(青山学院大学)

計測・評価 (14:45~15:45)

脳性麻痺者の GUI 画面でのマウスポインタ操作特性に関する一考察—D/C 比が移動および位置決め の時間値に与える影響について—

○西口宏美 (東海大学)

精神作業継続時における生理心理状態の評価に関する基礎検討

○宮本大輔、浅野裕俊(青山学院大学)
鈴木 哲(首都大学東京)、井出英人 (青山学院大学)

大量ライフログデータとベイジアンネットワークを用いた日常生活行動因果分析

○白石康星（東京理科大/産業技術総合研究所）、西田佳史、本村陽一（産業技術総合研究所/CREST,JST）、溝口 博（東京理科大学/産業技術総合研究所）

座位自力移動のための低摩擦材について
一畳に対する摩擦係数について

○小川鑛一（電東京電機大学）
大久保祐子（自治医科大学）

感覚1（16:00～17:15）

聴覚の誤りと機械認識の誤り

○江袋林藏（SAU研究機構）

聴覚刺激による注意喚起が人間操作者の反応時間に与える影響

○末長 修（静岡大学）、桂山博樹、中澤悠太（静岡大学・院）

環境音名称の主成分と共感覚反応の分析

○佐古めぐみ、河合隆史、三家礼子（早稲田大学・院）、佐古順彦（早稲田大学）

画像刺激によるカテゴリー別脳機能局在の非侵襲計測研究

○宮本和哉、横尾勇亮、豊福哲郎、三分一史和、外池光雄（千葉大学・院）

Working Memory 課題遂行時における脳機能局在性と反応時間

○横尾勇亮、宮本和哉、豊福哲郎、三分一史和、外池光雄（千葉大学・院）

C会場

ヒューマンファクター（10:00～11:00）

マイクロ波レーダーを用いた非接触呼吸パターン計測によるストレス評価

○塚原健史、藺牟田隼人（首都大学東京・院）、鈴木 哲、松井岳巳（首都大学東京）

運転中の音環境が生理反応およびパフォーマンスに及ぼす影響

○黄 敬華、陸 祁（千葉大学・院）、下村義弘、勝浦哲夫（千葉大学）

色光が筋発揮力と生理・心理反応に及ぼす影響

○小倉菜月希（千葉大学・院）、下村義弘、勝浦哲夫（千葉大学）

化学産業における新人作業者の規則遵守態度促進に関する研究

○大川慶一郎（早稲田大学・院）、小松原明哲（早稲田大学）

疲労 (11:15~12:15)

若年層技術職を対象としたメンタルヘルスの調査
—年代と職種による差異—

○石村光資郎 (慶應義塾大学)、加藤千恵子
(東洋大学)、鈴木康弘 (慶應義塾大学)

北欧式トランスファーテクニックにおける介護者の
腰部筋疲労について

○鈴木浩之、福島一敬 (千葉工業大学・院)、八田一利、
三澤哲夫 (千葉工業大学)、小野 晃 (ミモザ(株)健康科
学研究所)

メンタルタスク中の主観的ワークロードと生理量の関係

○五十嵐匡平 (千葉大学・院)、杉浦康司 ((株)いすゞ
中央研究所)、 中西美和 (千葉大学・院)、下村義弘、
岩永光一、勝浦哲夫 (千葉大学)

自動車乗車時における乗員の疲労評価方法に関する研究

○浦野竜太郎、高田 一、松浦慶総 (横浜国立大学・
院)

行動 (14:45~15:45)

Augmented Reality によるマニュアルの情報量と作業
パフォーマンスとの関係—動的な実視野への重合—

○玉虫俊一郎 (慶応義塾大学)、
中西美和 (千葉大学)、岡田有策 (慶応義塾大学)

Correlates of computer games play in children
and adolescents

○Ahmad Eibo、山下利之、増田士朗
(首都大学東京)

「物」に駆動される乳幼児の日常生活行動の
モデリングに関する研究 —「物」の属性と
乳幼児のよじ登り行動との関係記述—

○野守耕爾 (早稲田大学・院 産業技術総合研究所)、
西田佳史 (産業技術総合研究所/JST CREST)、
小松原明哲 (早稲田大学)

評価グリッド法を応用した就職活動支援ツールの提案

○宮崎 渉 (早稲田大学・院)、小松原明哲(早稲田大学)

介護・高齢者 (16:00~17:15)

映像と筋電図の同期計測によるベッドから車いすへ
移乗介助を行う看護学生の動作習熟前後の筋負担評価

○易 強 (静岡県工業技術研究所)、
白石葉子 (静岡県立大学)、鈴木聡美 (東京女子医科大学)、
岡田慶雄、鈴木敬明、櫻川智史 (静岡県工業技
術研究所)

仰臥位引っ張り移動時の低摩擦素材使用の効果
～頭側へのずり上げ移動時の摩擦係数～

○大久保祐子 (自治医科大学)、小川鑛一 (東京電機大
学)

電動ギャッチベッド背上げ環境における座面形状の
検討

○窪田 聡、片倉直子、遠藤 豊 (国際医療福祉大学)、
山本澄子 (国際医療福祉大学・院)

荷物の保持が高齢者の歩行に与える影響

○村田浩昭、山本 栄（東京理科大学）

在宅介護者の介護環境と介護意識がストレスに及ぼす影響について

○辛島光彦、西口宏美（東海大学）

11月30日（日）

B会場

感覚2（10:00～11:00）

色調知覚と脳活動の関係に関する研究

○豊福哲郎、宮本和哉、横尾勇亮、三分一史和、
外池光雄（千葉大学・院）

硬軟二層構造の弾性体刺激に対する硬さ感覚特性

○高瀬 翔（早稲田大学・院）、相馬健作（早稲田大学）、
土井幸輝（首都大学東京）、藤本浩志（早稲田大学）

パーソナルコンピュータを用いた定量的色覚
検査法の試作

○成岡 亮、衛藤憲人（東海大学・院）

対象認知における利き眼の機能計測に関する
基礎的検討

○酒井 駿、栗谷川幸代（日本大学）

感性（11:15～12:00）

感性評価に適したAHPの有効利用に関する検討

○神田太樹（西武文理大学）

呼吸規則性の定量化 ～模擬呼吸曲線による特性
評価と被験者の呼吸規則性評価～

○赤田浩太郎、不破輝彦、花房昭彦、池田知純、
塩田泰仁（職業能力開発総合大学校）

サービス商品における顧客満足度の構造に関する
研究～美容院を対象として～

○永水 洵（早稲田大学・院）、小松原明哲
（早稲田大学）

C会場

動作（10:00～11:00）

背上げ動作用マットレスの適合条件

○伊藤誠之、山崎信寿（慶應義塾大学）

足の左右優位性による滑り床面での恐怖感
及びすべり特性の違い --- 浴室の安全設計に
関する基礎的研究 ---

○永田久雄（(独)労働安全衛生総合研究所）
井上之彦（(株)アベイラス）、渡辺仁史、
林田和人（早稲田大学・院）

リハビリにおける高齢者の歩行能力の定量的評価	○田中権太、高田 一、松浦慶総(横浜国立大学・院)
足底面の前後・左右不安定が重心動揺に与える影響	○壽里伸一 (日本大学・院)、青木和夫 (日本大学)
人間工学評価 (11:15~12:15)	
腕筋力の違いが操舵回避に与える影響	○寺田悟士、栗谷川幸代 (日本大学)
立位及び座位による簡易胸腰部回旋角度測定器の比較	○福島一敬、鈴木浩之 (千葉工業大学・院)、 三澤哲夫 (千葉工業大学・院)、小野 晃 (ミモザ株健 康科学研究所)
人体の体容積と身体部位の左右差に関する研究	○松本恵太 (千葉工業大学・院)、上野義雪 (千葉工業 大学)
化粧品クリーム容器形状に関する人間工学的研究	○原田愛子 (千葉大学・院)、下村義弘、勝浦哲夫 (千 葉大学)

日本人間工学会関東支部第38回大会
大会実行委員会

堀江 良典 (日本大学：支部長)
小原 二郎 (千葉工業大学：名誉大会長)
八田 一利 (千葉工業大学：大会長)
三澤 哲夫 (千葉工業大学：事務局)
上野 義雪 (千葉工業大学)
鴻巣 努 (千葉工業大学)
白石 光昭 (千葉工業大学)
竹本 篤郎 (千葉工業大学)
鳥居塚 崇 (日本大学)
宮本 博幸 (千葉工業大学)
山崎 和彦 (千葉工業大学)

■事務局

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1 千葉工業大学工学部デザイン科学科 三澤研究室内

日本人間工学会関東支部第38回大会事務局 e-mail: jes_kanto38@it-chiba.ac.jp Fax: 047-470-2083